公共施設の老朽化が一斉に到来する Vol.3

文化・スポーツ・観光施設の現状

～施設を点で見るのではなく、地域を面で見る～

前回は集会施設と、集会にも使えるその他の施設について特集しました。今回は皆さんの心身を豊かにし、まちを盛り上げる、文化・スポーツ・観光施設について考えていきます。

問い合わせ　財産管理課　229-3126　FAX229-3444

多くの施設が合併前の市町村ごとに点在しています

津市にはホール、図書館、体育館が合併前の市町村ごとに10カ所ずつあり、温泉は４カ所、キャンプ場は６カ所あります。また、県や民間が運営する同種の施設もあるほか、各小学校の体育館については、学校事業に支障のない範囲で市民の皆さんにご利用いただいています。

このように同じような施設があちこちにあるのは、合併前の市町村で独自に整備されてきたためです。その上、それぞれの施設は規模が小さかったり、設備が十分にそろっていなかったりしています。

これらの課題を踏まえ、選択と集中により、施設の管理運営にかかる費用を節約するのはもちろん、イベントや観光客の誘致のため、各地域の特色を生かし、「新しい津市」としての一体的なまちづくりを目指します。

現状　同じような施設があちこちに点在

現状　施設の規模や設備が足りない

魅力ある施設への選択と集中

公共施設の老朽化が一斉に到来する Vol.4（最終回）は ▶▶▶「持続可能な津市の未来に向けて」